

Makuhari's Memory

プルス・ウルトラ

令和5年5月15日から5月19日までの5日間、「法令実務A（基礎）」を受講いたしました。4月に異動となった私にとって、短期間で確かな実務力、応用力を身に付けることができる本研修は、まさに渡りに船でした。自らの能力発現の可能性を信じアカデミーの門を叩くこととなりました。

アカデミーでまず感じることは、研修を取り巻く環境の素晴らしさです。

特に、講師の先生方による講義の質の高さは、他の追従を許さないものに感じます。

推し測るに、先生方が、受講生が短期間で効率的・効果的に成長できることを切に願い、時間と労力をかけて研修内容を練り上げているのでしょう。

先生方の講義から発せられる熱に感化され、自然に高い集中力と適度な緊張感を維持して講義に臨むことができました。

また、受講生の主体的に取り組む姿勢と意識の高さにも驚かされました。

講義中においては、受講生から先生方も感心されるほどの鋭い質問が何度も出ていました。

深い洞察と高い問題意識を目の当たりにし、モチベーションを更に高めることができました。

研修後の交流会では、共感し合える仲間と大いに会話を楽しみました。気心知れた仲間づくりができることもアカデミーの大きな魅力の一つです。

最後に研修を振り返ってみて、アカデミーでの5日間は、私にとって生涯忘れることのできない貴重な経験となりました。そして目的である実務の基礎力を身に付けることができた実感しています。

多くの市町村職員の方に、アカデミーでプルス・ウルトラを経験してほしいと願い、筆を擱かせていただきます。



大島 有貴

栃木県小山市
総務部行政総務課法務係主任
〈受講研修科目〉
法令実務A（基礎）
第37期第1組（令和5年度）

市町村アカデミーで学んだ5日間が財産に

令和5年5月15日から19日の5日間、専門実務課程「空き家対策の推進」を受講させていただきました。

今回の研修では、全国の自治体共通の課題である「空き家」をテーマに、専門的な知見を持つ大学教授や国土交通省、弁護士の方々講師となり講義が行われました。いずれの講義も、空き家対策の実務に初めて携わる私にとって非常に有意義なものでした。特に、国の制度や法令に関する知識を幅広く習得することができ、本町の空き家対策へのヒントを数多く学ぶことができました。

また、課題演習では、全国の自治体を持つ課題について意見交換することができ、多くの刺激を受けるとともに、同じ悩みを持つ仲間ができたことを心強く感じました。課題演習班の皆さまとは、研修時間以外でもたくさん語らうことができ、他の研修ではなかなか体験することができない貴重な機会となりました。

5日間という短い期間ではありましたが、全国の同志から受けた刺激は職場で業務に取

り組むにあたってのモチベーションになりました。代表幹事に指名されながら、感染症対策の観点からクラス全体の交流の機会を設けられなかったことは心残りですが、全国各地に同じ時間を過ごした仲間がいること自体が、かけがえのない財産だと思っています。

最後に、同期の皆さまや研修所の皆さま、快く研修に送り出してくださった職場の皆さま、本研修に携わっていただいた全ての方々に感謝いたします。ありがとうございました。



品川 貴洋

埼玉県川島町
まち整備課空き家対策推進室主査
〈受講研修科目〉
空き家対策の推進
第37期第1組（令和5年度）